



野々市市が「住みよさランキング 2020」で全国1位になりました。「住みよさランキング」とは、東洋経済新報社が各種指標を基に“住みよさ”の偏差値を算出し、全国812の市と特別区を順位付けしたものです。野々市市は、利便度が10位、安心度・快適度・富裕度も100位台と全ての指標で高水準でした。この結果を踏まえ、今後も「住みやすいまち」「選ばれるまち」を市民の皆さんと創っていきます。

速報

## 野々市市が「住みよさランキング 2020」で全国1位に！

## 健康通信

野々市市食育推進計画  
(第3次) を策定しました。

問い合わせ  
◆健康推進課  
☎248-3511

## 計画策定の趣旨

「食育基本法」(平成17年7月)では、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育が推進されています。

市では、この「食育基本法」を基に、平成22年7月に「食育推進計画」を策定して取り組みを行ってきました。この度、これを見直し、令和2年3月に「野々市市食育推進計画(第3次)」を策定しました。

## 計画の背景と期間

本計画では、これまでの計画の評価から、若い世代の朝食欠食率が高いことや、栄養バランスの偏りという課題への取り組みを明確化しました。また、新たに食品ロスの削減について盛り込みました。これまでの計画と同様に、生活習慣病の発症予防や重症化予防の観点から各ライフステージに応じた食育施策に取り組みます。なお、計画の期間は令和2年度から令和6年度までの5年間です。

「市民一人ひとりが自分の健康を意識した食生活を送ることができる」ことを目指し、関係機関との連携・協力をより一層図りながら取り組みを推進していきます。計画は市のホームページからもダウンロードできます。一度読んでみてください。

## 一目標に向けた取り組みの例一

分野	取り組み
妊娠期	母子手帳交付時、全妊婦に対して適正な体重増加や胎児の成長のメカニズムなどを学習できるよう情報提供を行います
成長期	乳幼児健康診査などの機会を利用し、保護者に内臓機能の発達や発育に応じた食事について伝えます
若年期	朝食の必要性を理解し、朝食を食べる習慣が身に付くよう、手軽で栄養バランスの良いメニューなどの情報提供を行います
中年期	健診結果説明会や健康相談などを通じて、適切な食の選択力を向上できるように栄養指導を実施します
高齢期	生活習慣病や低栄養を予防することで、フレイル予防を図ります
食育ボランティア団体との関わり	食生活改善推進協議会の食育活動を、広報やホームページ、SNSなどを通じて啓発し、活動に賛同する市民を会員として養成します
食品ロスの削減	市民が食べ物の大切さを意識し、食品ロス削減を意識した消費行動を実践するための取り組みを推進します
食文化	地場産の食材を保育園や小中学校の給食で積極的に取り入れられるよう努めます